

再生 短信

15年ぶり山津見神社例大祭 2025.12/04-12/06

A photograph showing a group of people standing in front of a stage with a thatched roof. The stage is decorated with large red silhouettes of horses on white panels. In the background, there are trees and a utility pole.

演有宮、野出姫、虎捕山の伝承から原発事故を経て、自然と共生する飯館の営みを現代に問う（写真5）。



復元したオオカミ天井絵
再生の会の参拝団有志は5日夕
納、2016年復元オオカミ絵奉
納、当時の氏子総代宇野美徳さん
訪問。永徳さん「久美さんが学生
さんとお参りに来てくれました」。
加藤久美和歌山大学院観光学
研究科教授は天井絵復元の立役者
のひとり、ありがたみを込めてのひ
ことだ。

2025年1月4日(水)～6日(金)
右福島県相馬郡
飯舘村佐須地区
にある山津見神社の例大祭が震災後15年ぶりに復活。記者は5日・6日現地に。3回にわたり報告する。

恒例「佐須の茶屋」(写真1)は茅葺の本格構造で参道に展開する露店群(写真)



「虎捕山縁起」
（作）

今春以来、佐須氏子総代会（佐藤公一代表）、岡岡倉庫グループ、ふくしま再生の会ほかの参加により山津見神社例大祭実行委員会（阿部猛会長・田尾陽一事務局長）が地域文化の継承発展に注力してきた。一時は、存

（写真4は伊賀和子さん提供・他是筆者撮影）
虎捕太鼓が福島大学の皆さんのは手により、村の奏者の指導を受けながら復活、折しも満月の下で奉納された（写真7）。希望の夜である。

人間と自然の共生

オオカミと生きる